

市民講座

まちと、
健康と、
私たち

第1回

11.22(日)

11:00-12:50
(講演90分+質疑応答20分)

百寿者から学ぶ
健康長寿の秘訣

講師 看護医療学部 教授 医学部百寿総合研究センター長 **新井 康通**

人生100年時代を豊かに過ごすには、健康寿命を延ばすことが重要である。慶應義塾大学では30年以上にわたり百寿者を研究し、フレイルや認知機能低下の予防、心臓や腎臓の健康維持が健康長寿に重要であることを明らかにしてきた。さらに、元気な高齢者の追跡研究から、食生活や運動習慣、家族や地域とのつながりの重要性も見えてきた。本講演では、これらの研究成果をもとに、人生100年時代を健やかに楽しく生きるためのヒントを紹介する。

第2回

11.23(月・祝)

13:00-14:50
(講演90分+質疑応答20分)

鶴岡から地球を救う
慶應義塾大学先端生命科学研究所

講師 政策・メディア研究科 教授 **荒川 和晴**

慶應義塾大学先端生命科学研究所(IAB)は、2001年に山形県鶴岡市に開設され、今年25周年を迎えた。「花よりも根を養う」を導きに、メタボローム解析を基盤とする研究、ベンチャー創出、人材育成を推進し、鶴岡サイエンスパークを核に、健康・食・素材・まちづくりへ成果を広げ、研究・人材・産業が循環する「知の生態系」を育ててきた。本講演では、その歩みから地方研究拠点が地域の未来を拓く可能性を考える。

第3回

12.5(土)

13:00-15:00
(講演90分+質疑応答30分)

人がつながり、活動が
生まれる場のつくり方

講師 総合政策学部 教授 **飯盛 義徳**

地域づくりの第一歩としての場づくりが注目されている。場は、多様な人々が集まり、相互作用を通して、地域の課題解決に役立つような何らかの自発的な活動を生み出す拠点であり、昨今地域づくりに求められている担い手の確保・育成の足がかりにもなる。ただ、漫然と場をつくれれば全てうまくいくわけではない。本講演では、さまざまな先進事例を紹介しながら、プラットフォームの概念から効果的な場の要件について検討する。さらに、場をうまく運営するための大切な心構えについても議論する。本講演が藤沢市のさまざまな場での有用な実践知につながることを心から願っている。

会場

慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス オメガ館(Ω館)11番教室
※構内には駐車スペースをご用意できません。公共交通機関をご利用ください。

対象者

どなたでも参加可能(藤沢市在住・在勤・在学の方を優先)

定員

各回300名(先着順)

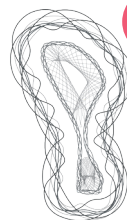
受講料

無料

お申込み方法

申込フォームまたはメールにてお申込みください。
メールの場合は、件名を「市民講座申込み」とし、本文に以下の項目をご記入のうえ somu@sfc.keio.ac.jp へ送信してください。
①氏名 ②ふりがな ③年齢・年代
④藤沢市在住・在勤・在学かどうか ⑤参加希望回

申込フォーム



SFC 万学博覧会 2026

第1回

第2回

同日開催

SFC万学博覧会

SFC万学博覧会と同日開催！
ぜひお立ち寄りください！

SFC最大の研究発表イベント「SFC Open Research Forum (ORF)」をはじめ、「オープンキャンパス」「藤沢市民講座」など、さまざまなイベントが博覧会の名の下に集結します。多様な研究分野を実践するSFCの「万学」をご覧ください。

詳細はこちら▼

